

「高次脳機能障害と言われて…」

～新たな人生の目標を、共に考えるために～

日時 平成 25 年 2 月 16 日 (土)

13:30～16:30 (開場 12:45)

会場 小平市 ルネこだいら 中ホール《西武新宿線 小平駅から徒歩3分》

参加費無料 定員400人

※車でのお来場はご遠慮願います

内容 I 部 基調講演「新たな人生の目標を、共に考えるために必要なこと」

～高次脳機能障害者の自立支援に活かす ICF (国際生活機能分類)～

上田 敏氏 (日本障害者リハビリテーション協会顧問
元東京大学医学部教授)

II 部 i) 地域での支援の実際 ～当事者を囲んで～

多摩北部医療センター (リハビリテーション科) 鴨下博氏

大塚裕子氏

西東京市保谷障害者センター (相談支援・地域活動支援センター)

小川よし子氏

西東京市社会福祉協議会 (あんしん西東京)

中澤元子氏

さくら介護サービス

(ヘルパー事業所サービス提供責任者)

森田真里氏

<コーディネーター> 田中真知子氏

(高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリム)

西東京市地域自立支援協議会委員

ii) 家族会「絆」の活動内

申込みが必要
です(⇒裏へ)



高次脳機能障害とは？

脳卒中や交通事故などが原因で、脳が損傷され、話す・考える・覚える・集中することが難しくなり、社会生活に支障をきたす状態をいいます。

みづかりにくく、外見からわからずに周囲から誤解も受けやすいこの障害に対して、どのような支援が必要か、どのように支援をしたら地域で暮らしやすくなるのか、参加される皆さんと一緒に考えます。

ICF (国際生活機能分類) とは？

2001年にWHO(世界保健機関)総会で採択された人間の生活機能と障害の分類法です。

それまでは、障害状況のマイナス面を分類するという考え方が中心であったのに対し、ICFは、「人が持つプラス面の能力(生活機能)」と、それらに影響を与える環境因子等の観点から、「その人の生活と人生を総合的に捉えよう」という考え方に基づいています。

ICFを用いることにより、当事者・家族と保健・医療・福祉等の幅広い分野の従事者が、当事者家族の状態について共通理解を持って、目標を共有することができます。

主催：北多摩北部地域 高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会

北多摩北部地域リハビリテーション支援センター(多摩北部医療センター)

後援：東京都心身障害者福祉センター

問合せ：西東京市 障害福祉課

TEL 042-452-0087 Fax 042-452-0076

小平市 障害者福祉課

TEL 042-346-9542 Fax 042-346-9541

東村山市 障害支援課

TEL 042-393-5111 Fax 042-395-2131

清瀬市 障害福祉課

TEL 042-492-5111 Fax 042-492-5139

東久留米市障害福祉課

TEL 042-470-7747 Fax 042-475-8181